

2023年5月18日(木)

新宿区議会
各派幹事長各位

質問時間短縮に異議を訴え、多様性を尊重する議会への改革を求める申し入れ

新宿区議会
れいわ新選組 新宿
さわいめぐみ

●申し入れを行うに至った経緯

新宿区議会第20期がスタートいたしました。本会議におけるひとり会派の質問時間について、第17期18期25分、19期15分、今回の20期では9分と着々と短縮する話し合いが進んでいます。たった9分ではひとり会派として十分な質疑が行えないのではないかと、最低限の時間を確保して欲しいと何度も訴えましたが、その都度一部多数会派より、9分の条件を飲まなければ多数決で強行決定する、それに伴いひとり会派の質問に対する区長答弁などの権利もはく奪することを提示されました。またこれまで新宿区議会が話し合いの上の合意形成で進めてきた議会運営を、今回の多数決での事例を持って今後も、様々な場面で多数決で行っていく可能性さえも示唆されました。

●申し入れを行った理由

区民のさまざまな要求を可視化し、行政とのやりとりで課題を浮き駆りにすること、区政をしっかりと監視することは区議会議員の大きな務めだと考えます。会派としてはひとりでも、その背後には少なくない区民の方々の期待と要望があります。質問は区民の思いを行政の長である区長へ繋ぐための大切な場でもあり、議場における質問時間を軽視することはできません。また二元代表制を礎としてなる議会の力を自ら弱めるような「質問時間の短縮」は区民からの負託を裏切る行為といわざるをえません。

●結論

よってこのような話し合いのプロセスと決定について、民主主義のもう一つの根幹である少数派の尊重が果たされていないと考え、私は多様性を尊重する議会への改革をここに申し入れます。